

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立宇和島水産高等学校

学校番号(41)

評 価 実 施 日		令和8年2月26日(木)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	谷 本 治	学校評議員、宇和島地区少年警察ボランティア協会	
	宇都宮 隆二	保護者代表、PTA会長	
	渡 邊 昭生	学識経験者、愛媛県農林水産研究所水産研究センター長	
	広 沢 初志	地域代表、愛媛県漁業協同組合宇和島支所 副運営委員長	
	利 根 建樹	中学校関係者、宇和島市立城東中学校長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 学習時間の習慣化や基礎学力について、あまり伸びていないように感じる。中学校から高校へ生徒を送る際に、もっと指導しなければならないと思っている。 (2) 生徒指導 皆勤率が高い学科と低い学科がある。引き続き学校に来る指導をお願いしたい。 水産高校の生徒は能動的に挨拶してくれてとても良いと思う。今後も引き続き指導をしていただきたい。校則についても検討していただきたい。 暴力動画の拡散が報道されているが、模倣する生徒がいなか心配である。もしそのようなことがないよう指導していただきたい。また、自転車の施錠についても指導をしていただきたい。 部活動は2、3年生になっても続けてもらいたい。 (3) 進路指導 6割を超える卒業生が水産・海洋関連業界へ就職している。今後も引き続き水産業等への進路指導をお願いしたい。 就職先が増えたという印象である。現在は離職する人が多い状況であるが、離職した生徒へのアドバイスをお願いしたい。 (4) 業務改善 校内外でいろいろと忙しいことと思うが、生徒のためにも継続して働き方改革に取り組んでほしい。	特に平日や休日の家庭学習について、資格や校内テストの勉強を行わせるなど継続して指導していきたい。 校内テストについては、昨年度の達成回数が多かったため具体的目標を上方修正したことが影響して評価が下がっていると思われる。各学年で校内テストに取り組む意識を高められているが、生徒間の点数差が大きいため、今後は放課後等も利用して指導していきたい。 目標のないまま学校生活を送っている生徒に、欠席や遅刻が多い傾向にある。学年団を中心に生徒へ注意喚起するとともに、家庭との連携を強化し継続して指導をしていきたい。ミスマッチの無いよう魅力のある取組を続けていきたい。 校則については、令和8年度に見直しを進める予定である。 暴力動画については、相談窓口として、県の総合窓口を紹介している。また、警察と相談しながら対応する仕組みはできている。自転車の施錠については、繰り返し指導をしていきたい。 部活動については、継続して続けられるよう指導していきたい。 進路については、1年次からの進路指導を大切にしながら早めに意識付けをし、自分の意志で進路先を選ぶことができるよう指導していく。進学者については必要な学力を身に付けられるよう、教職員全体で継続的に指導する。就職については、専門分野を生かして水産業を支えることの大切さを教育活動全般をとおして継続的に指導していく。 卒業後3年間の追跡調査を行っているが、仕事が続かず退職する卒業生が増えてきた。報告をしに来る卒業生が多いので、励ましながらアドバイスをしていきたい。 継続して一人1台パソコンや校務系ネットワークの更なる活用と業務の平準化に努めるとともに、教職員全員が有給休暇を取得できるよう環境改善に努める。 教職員のメンタルヘルス改善のための声かけや健康相談の機会をこまめに設けるよう努める。
2 学校教育活動について 研究発表等では全国的に活躍され、奉仕活動や藻場造成など地域と連携した活動についても熱心に行っていた。今後も地域との関係を大事にしていきたいが、無理のない範囲でお願いしたい。	今後も地域や企業等と連携し、負担が大きくなりすぎないように考えながら、積極的に取り組んでいきたい。
3 学校運営への提言 本校は特色のある学校なので、今後も選ばれる学校となるよう教育活動に取り組んでいただきたい。 全国募集が始まったが、県外の生徒や保護者からも選ばれる学校になって欲しい。今後も、入学支援金など生活面のサポートについてもお願いしたい。	全国募集に伴い教員の負担を心配していたが、中学生の反応がよく、先生方も熱心に取り組んでいる。令和9年度の統合は、マイナスの統合でなく前向きな統合であることを念頭に取組んでいる。愛媛県や宇和島市のサポートもあるため、教員のやりがいにつながっている。生活面のサポートについては、改めて宇和島市に相談していく。